

旭川市科学館報

Vol. 7

平成27(2015)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 概要	2
3 沿革	2
4 施設の詳細	3～4
II 平成26年度事業活動報告	
1 利用状況	5
2 常設展示事業	6
3 特別展示事業	7～8
4 実験実習事業	8～13
5 天文普及事業	14～17
6 学校連携事業	18～19
7 共催事業	19
8 その他科学館で開催された主な催事など	19
9 情報提供活動	20
10 広報活動	20
III サイエンスボランティア旭川の活動	
1 概 要	21
2 平成26年度従事者数	21
3 活動の内容	21～23
IV 旭川市科学館利用案内	
1 観 覧 料	24
2 開 館 日 等	25

運営組織及び職員数（平成27年4月1日現在）

館長	科学館協議会	(任期：平成26年7月1日～平成28年6月30日)
(1名)	(10名)	
副館長	科学館施設設備管理担当	
(1名)		
主査	地学（地質）、プラネタリウム・生物、科学館常設展示・運営管理担当	
(3名)		
主任	プラネタリウム、天文、電子工作、理科実験	
(4名)		
係員	理科・庶務担当、電子工作	
(2名)		
嘱託職員	レファレンスルーム運営管理、理科実験指導、パソコン教室、木工模型工作	
(12名)	指導、天文観測指導、プラネタリウム解説、団体観覧受付	
臨時職員	事務補助・団体観覧受付	
(2名)		

科学館職員 計25名

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

旭川市科学館「サイパル」は、子どもたちをはじめ多様な方々に、様々な科学に関する情報を伝え、関心を高め、科学への理解を深めることを目的としています。

これまで、旭川市青少年科学館では物理・化学・天文などの分野を主な事業活動の対象としてきましたが、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められている今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要です。

このため、旭川市科学館では、物理学，化学，生物学，地学など、あらゆる自然科学分野を対象として、多彩な活動を進めていきます。

2 概要

サイパルの位置する「北彩都あさひかわ」シビックコア地区には、科学館に隣接して旭川市障害者福祉センター「おびった」、旭川市市民活動交流センター「CoCoDe」、国の合同庁舎が建っています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間も設けられています。神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことができるのも大きな特徴です。

また、多くの方々に御利用いただく常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子どもから高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れました。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館に生まれ変わりました。科学の不思議さを表現したシンボル展示、「国際家具デザインフェア旭川」コンペティション入選作品など美しい地場木製家具を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しました。

3 沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成
平成26年11月9日	入館者300万人を達成



旭川市科学館外観

4 施設の詳細

(1) 旭川市科学館

- ・所在地 旭川市宮前1条3丁目3番32号
- ・敷地面積 27,099.65㎡
- ・延床面積 5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
 - 〔内訳〕 ○常設・特別展示室，サイエンスシアター 約1,780㎡
 - プラネタリウム 約 375㎡
 - 天文台 約 90㎡
 - 実験実習室ほか 約 655㎡
 - 共用・管理運営関係 約2,900㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

(2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	情報コーナー	バーチャル科学館案内，科学クイズ，サイエンスライブラリー等の機能
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
3階	機械室など	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円形広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

(3) 常設展示室詳細

II 平成26年度事業活動報告 2 常設展示事業を参照

(4)天文台詳細

- ・ 位 置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・ 面 積：173㎡(うち大天文台50㎡, 小天文台19㎡, 準備室20㎡, その他84㎡)
- ・ 大天文台：ドーム直径8m, 口径65cm カセグレン式反射望遠鏡(三鷹光器製)及び付属望遠鏡2基設置, 光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
- ・ 小天文台：ドーム直径5m, 口径20cm 屈折望遠鏡(三鷹光器製)及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置, 太陽投影板・太陽用H α フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設, コンピュータコントロール方式, 遠隔操作・観測画像配信システム
- ・ 観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

(5)プラネタリウム詳細

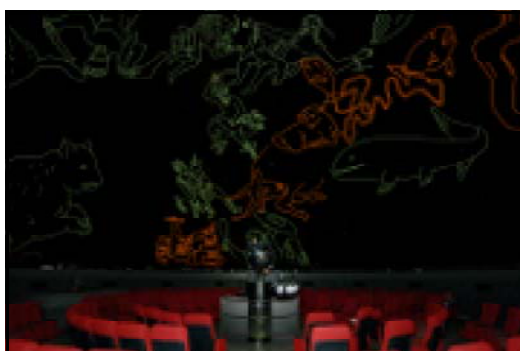
- ・ 面 積：670㎡(客室232㎡, プロジェクションギャラリー112㎡, ロビー228㎡, その他98㎡)
- ・ ドーム：直径18m, 水平型・平面床, 170席(うち2人掛け椅子5脚, 通常時同心円配列・映像投影一部回転式)
- ・ 投影機：カール・ツァイス社製スターマスターZMP(コンピュータ制御, 光源・光ファイバー式), 全天周ドーム映像装置など付設
- ・ 特 徴：生解説によるマニュアル投影, 我が国初のデジタル操作式カール・ツァイス社製投影機の導入, 全国で初めて回転可動式座席を導入。



天 文 台



大型望遠鏡



プラネタリウム

Ⅱ 平成26年度事業活動報告

1 利用状況

内訳 月	常設 展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等参加者		その他	合計	平成25年度
					(うち特別展分)			
4	9,104	4,454	1,448	3,872	————	84	18,962	19,948
5	12,159	6,084	1,728	6,760	————	53	26,784	32,426
6	7,942	4,019	1,094	2,551	————	2,255	17,861	17,043
7	13,437	6,668	1,196	3,655	(1,635)	56	25,012	25,859
8	21,754	10,788	2,767	6,961	(4,825)	17	42,287	51,410
9	9,508	5,276	1,162	4,265	(2,230)	23	20,234	25,955
10	7,013	3,825	1,014	2,248	————	916	15,016	19,559
11	10,626	4,153	921	7,953	————	200	23,853	22,154
12	2,805	1,646	218	1,085	————	103	5,857	9,982
1	5,298	2,235	414	6,502	————	1,019	15,468	15,389
2	3,412	1,801	486	1,325	————	410	7,434	7,167
3	7,206	3,293	972	1,863	————	324	13,658	14,474
合計	110,264	54,242	13,420	49,040	(8,690)	5,460	232,426	261,366

※平成26年度の1日平均入館者数：730.9人／日（開館日：318日）

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成16年度～平成25年度：延べ人数）

※平成16年度までは旭川市青少年科学館での実績（平成16年度までは観覧料無料）

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備 考
H16	36,180	16,485	1,433	19,193	73,291	1月30日で旧館閉館
H17	220,713	107,732	70,108	40,925	439,478	7月23日より新館開館
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,523	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,896	299,040	6月～9月原則無休開館
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	
H24	115,940	60,930	13,959	63,726	254,555	
H25	120,877	62,656	16,667	61,166	261,366	

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



常設展示室

2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型、キッズコーナー、科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー	展 示 名	
北国	北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球	身体ズームイン／内蔵パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風を起こそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシーン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影であそぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディーアタック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう／人類の進化／環境問題クイズ／燃料電池／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙	ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国 雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球 巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙 宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国 石狩川夢の旅人
		地球 謎の深海底
		宇宙 テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成26年4月～平成27年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体 (団体料金適用者)					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	4,001	40	4,575	241	8,857	0	111	39	97	247	9,104
5	4,698	88	4,525	326	9,637	216	133	1,804	369	2,522	12,159
6	2,318	42	2,511	191	5,062	237	97	1,879	667	2,880	7,942
7	4,314	83	4,688	394	9,479	2	0	3,172	784	3,958	13,437
8	8,790	237	9,301	760	19,088	65	24	1,967	610	2,666	21,754
9	3,075	66	2,903	228	6,272	91	0	2,415	730	3,236	9,508
10	2,717	58	2,753	203	5,731	91	40	691	460	1,282	7,013
11	4,599	38	5,029	207	9,873	29	0	408	316	753	10,626
12	1,100	19	967	94	2,180	13	0	521	91	625	2,805
1	2,078	44	2,392	324	4,838	4	0	344	112	460	5,298
2	1,625	43	1,346	101	3,115	10	0	158	129	297	3,412
3	3,142	106	3,226	230	6,704	29	2	306	165	502	7,206
年度合計	42,457	864	44,216	3,299	90,836	787	407	13,704	4,530	19,428	110,264

※「その他」は観覧料免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

3 特別展示事業

(1)夏休み特別展「エレメントサイエンス 元素の世界をさぐれ！」

ア 展示

実施期間	平成26年7月19日～9月15日（開催期間59日間）
観覧者数	8,690人（オープニングセレモニー参加者含）
内 容	「元素の世界」を様々なアミューズメント仕立ての体験装置やチャレンジゲームを通して、普段の生活で意識されていない元素の特性や日常生活との関わりについて、5つのステージ（コスモステージ、ライフステージ、テクノロジーステージ、エナジーステージ、エコステージ）に分けて紹介した。

イ 関連事業

・エレメントワークショップ

内 容	対 象	参加者数	開催日
焼きペンで元素記号のクリップを作ろう	どなたでも	220人	7月19日, 8月23日, 31日, 9月7日
はちみつスライムを作ろう		260人	7月21日, 8月24日, 9月15日
砂絵で周期表を作ろう		2,130人	7月22日～9月14日の間に42日間開催
ソーラーオルゴールを作ろう		224人	7月26日, 8月17日, 9月13日
身近な物と宝石でエレメントBOXを作ろう		254人	7月27日, 8月9日, 16日
周期表のカライドサイクルを作ろう		171人	8月2日, 30日, 9月6日

・サイエンスショー

内 容	対 象	参加者数	開催日
元素のふしぎな実験	どなたでも	602人	7月20日, 8月3日, 10日, 24日, 9月14日
ゲゲゲの元素食堂		143人	8月31日, 9月7日

・燃料電池実験デモ実験

内 容	対 象	参加者数	開催日
燃料電池モデル装置の実演	どなたでも	570人	8月9日～10日, 13日～17日, 23日～25日, 27日～28日, 30日～31日, 9月1日～15日

・「地球を救え！」封印！有害化学物質

内 容	対 象	参加者数	開催日
身近な有害化合物を輪投げで封印するゲーム	どなたでも	57人	8月23日～27日, 31日

・クイズ大会

内 容	対 象	参加者数	開催日
展示物に関連したクイズ大会	どなたでも	310人	9月13日～15日



特別展示室会場



学習・研修室会場



関連事業（はちみつスライムを作ろう）



関連事業（元素の不思議な実験）

4 実験実習事業（主な物を掲載）

(1) 体験教室・講座

ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	94人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	114人	5月～9月 (各10回)
	理科(日)			20人	148人	
	科学工作(木)	コロックルのラジオの製作		16人	148人	
	科学工作(土)			16人	149人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	141人	
実験工作	理科実験と木工作	小学6年～ 中学生		20人	111人	
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	91人	11月～翌3 月(5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	107人	11月～翌2 月(各10回)
	理科(日)			20人	62人	
	科学工作(木)	LEDあんどんの製作		16人	49人	
	科学工作(土)			16人	121人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	133人	
実験工作	理科実験と電子工作	小学6年～ 中学生		20人	53人	
	生き物・地球	生き物や岩石の観察など	小学5年～ 中学生	10人	111人	5月～翌1 月(15回)

イ 親と子の実験室（前・後期）

	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (前期全5回、後期全6回)	小学2～3年生の 親子	40組	326人	5月～7月
後			40組	422人	11月～翌2月

ウ 旭川少年少女発明クラブ

	内 容	対 象	登録数	延べ人数	開催日
	アイデア工作，基礎工作，科学の夢絵画の制作など	小学3年～中学生	10人	280人	6月～翌3月（19回）

エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	「火山噴火と大地の恵み～火山災害と自然からの恩恵について考える」 講師：岡田 弘名誉館長（北海道大学名誉教授）	14人	9月6日
2	「人類進化から探る男女関係について」 講師：馬場 悠男顧問（国立科学博物館名誉研究員）	18人	10月18日
3	第23回先端科学移動大学「安全と環境とエネルギーの融和」 他4講座	216人	11月8日
4	「自然の輝きと都市との調和～大都市東京をサンプルとして」 講師：森澤 正昭顧問（東京大学名誉教授）	14人	11月16日
5	「すばる・ALMA・TMT～宇宙を見る目の今」 講師：渡部 潤一顧問（国立天文台副台長）	51人	12月23日

オ こども科学博士

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	空気さん、ありがとう！	小学1～2年生の 親子	20組	22人	7月26日
2	シュワシュワ大作戦		15組	30人	10月26日
3	雪アイスをつくろう		10組	16人	1月12日
4	音の工作教室		10組	4人	3月8日

カ 理科実験マスター教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	まさつのチカラ	小学6年～中学生	10人	4人	8月6日
2	色変化の化学反応を体験してみよう		10人	3人	1月6日

キ パソコン基礎講座

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	たのしくパソコン～パソコンの	高齢者	10人	94人	6月～8月
2	使い方を習得し，生活に利用し		10人	98人	9月～11月
3	よう。（全10回）		10人	96人	1月～3月
4	特別講座「Word編」		10人	29人	11月13日 ～15日

ク 地学体験学習

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	本格派！化石のレプリカづくり	小学生～中学生	10人	10人	7月29日
2	有孔虫の化石を取りだそう！		10人	10人	7月30日
3	本格派！化石のレプリカづくり		10人	10人	1月7日
4	有孔虫の化石を取りだそう！		10人	10人	1月8日
5	化石のレプリカづくり (タカハシホタテガイ)		10人	4人	3月1日
6	お手軽！化石のレプリカ工房		10人	4人	3月1日



サイエンスセミナー



たのしくパソコン

(2)ものづくり教室

ア 市民木工教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	からくりおもちゃの製作	大人	18人	18人	5月3日
2	模様に凝った小物入れの製作 (午前, 午後開催)		10人	31人	6月7日 ～8日
3	My フォークを作ろう		10人	3人	8月16日
4	手足が動く動物のおもちゃの製作		16人	23人	9月20日 ～21日
5	カッティングボードの製作		10人	10人	10月18日
6	木製フォトフレームの製作		10人	17人	11月8日 ～9日
7	サイドテーブルの製作		16人	32人	2月21日 ～22日

イ 親子で作る木の工作室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	ゴムでっぼうの製作	小学3・4年生と 保護者	10組	22人	8月9日
2	(各日午前, 午後開催)		10組	24人	8月10日
3	おやこヤジロベエ作り		10組	14人	12月20日
4	(各日午前, 午後開催)		10組	12人	12月21日

ウ デジタル工房

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	センサー付きデジタル時計の製作	小学4年～中学生	10人	5人	7月28日
2	スクローラーの製作		10人	10人	8月6日
3	メロディー時計の製作		10人	4人	12月26日
4	アラーム付き時計の製作		10人	8人	1月7日

エ 夏休み・冬休み自由工房

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	とんとん教室（2回実施）	小学4年～中学生	10人	16人	7月29日
2	パソコンを活用しよう		10人	3人	8月1日
3	かんたん電子工作		10人	9人	8月11日
4	かんたん電子工作		10人	10人	1月8日
5	とんとん教室（2回実施）		10人	11人	1月9日

オ 大人のための電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	調光式ドームライトの製作	大人	10人	10人	5月17日
2	防災ラジオの製作（夜間）		10人	7人	7月19日
3	10音色・ミニ電子ピアノの製作		10人	6人	9月23日
4	クモの巣ラジオの製作		10人	4人	10月11日
5	アクア・チューブ・ランプの製作（夜間）		10人	8人	11月5日
6	ソーラーチャージャーの製作		10人	10人	1月17日
7	3バンドラジオの製作		10人	10人	3月8日

カ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	充電式LEDライトの製作	小学4年～中学生	10人	7人	5月6日
2	AM / FM ラジオ付きLEDライトの製作		10人	9人	7月21日
3	懐中電灯の製作		10人	6人	8月3日
4	ライントレースロボットの製作		10人	10人	8月12日
5	オルゴールごまの製作		10人	9人	12月23日
6	FM / AM 2バンドラジオの製作		10人	6人	12月27日
7	電子サイコロの製作		10人	10人	1月12日

キ 春・夏・冬休みプチ実験工作室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	ポンポン蒸気船を作ろう （2回実施）	小・中学生 （小3以下は保護者同伴）	20人	40人	8月8日
2	雪の結晶万華鏡を作ろう （2回実施）		20人	27人	1月14日

ク エレメント工作教室

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	クモ型ロボットの製作	小学4年～中学生	10人	10人	7月27日
2			10人	10人	7月31日
3	元素記号時計の製作		10人	7人	8月2日
4			10人	9人	8月4日

ケ 糸のこ体験工作

内 容	対 象	参加者数	開催日
キーホルダーの製作（全8回）	どなたでも	166人	1月29日 ～3月27日

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	20人	8人	5月18日
2			20人	18人	6月8日
3			20人	20人	6月14日
4			20人	18人	2月15日
1	子連れお散歩自然観察会	未就学児童と保護者	20人	16人	6月5日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	探鳥会	小学生以上	30人	16人	5月11日
2	昆虫標本をつくろう（2回実施）	小学4年～中学生	10人	5人	8月2日, 3日
3	サケ遡上見学ツアー	小学生以上	80人	54人	11月25日

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象としたサイエンスショーを開催。

内 容	対 象	参加者数	開催日
音の実験など13テーマ（全48回）	どなたでも	3,567人	毎週土曜日

イ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催。	どなたでも	6,890人	4月29日
秋			9,258人	11月3日

ウ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
GWサイエンススタジオ 「シャボン玉パーク」	どなたでも	5,467人	5月3日～6日
ナイトサイエンス 「夜の実験タイム，星と夜景のひろば，夕暮れのプチ自然観察会」		87人	8月16日，17日
むしむし工作教室		557人	9月23日
科学あそび大集合		2,486人	11月23日，24日
コロッ・クルのクリスマス		22人	12月23日
びっくり科学工作		241人	2月11日
春のサイエンススタジオ		563人	3月21日，22日

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生149人，中学生45人）	194人	8月20日 ～9月19日 （募集期間）
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川旭川創意工夫教育研究会，旭川発明協会との共催）	45人	7月30日 ～9月19日 （募集期間）
合同展示会・表彰式（表彰式は13日のみ）	1,054人	10月9日～13日

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生7人，中学生1人），絵画（小学生98人，中学生58人）	164人	4月30日～ 7月31日

ウ 科学技術週間行事

内 容	対 象	参加者数	開催日
科学技術映像祭入選作品上映会 疑似体験！これからの科学との付き合い方とは？ 考えるカラス～科学の考え方～ （2番組）	どなたでも	29人	6月15日
科学技術映像祭入選作品上映会 NHK スペシャル 足下の小宇宙～ 生命を見つめる植物写真家		10人	6月22日
科学技術映像祭入選作品上映会 氷の島のメッセージ グリーンランド 温暖化の最前線から		11人	6月29日

5 天文普及事業

(1) 天文台事業

ア 天文台公開

期 間 等	平成26年4月～平成27年3月 (318日間開放)
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内 容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径8メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径5メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前9時30分～午後5時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ 天体を見る会

期 間 等	平成26年4月～平成27年3月 (計19回実施)
参加者数	計886人
内 容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	4月～9月：19:30～21:00, 10月～3月：19:00～20:30 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

ウ 星の教室

内 容	対 象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する(全6回)	どなたでも	159人	奇数月の主に最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	親子で望遠鏡の使い方と観測方	小中学生と保護者	35人	6月7日
2	法を学ぶ		12人	9月6日

オ 夏・冬休み天文教室

	内 容	対 象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡の製作とプラネタリウム	小学4年～中学生	6人	7月31日
冬	ウム, 常設展示見学		5人	12月27日

カ 天体観測

内 容	回数	期 間
太陽黒点の観測	173回	4月～3月
皆既月食の観測	1回	10月8日

(2) プラネタリウム事業

天文知識の啓蒙・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎ プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個人					団体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	2,049	55	2,014	143	4,261	0	111	39	43	193	4,454
5	2,353	57	1,990	191	4,591	49	133	1,009	302	1,493	6,084
6	1,270	48	978	118	2,414	111	97	1,044	353	1,605	4,019
7	2,279	68	1,899	256	4,502	0	0	1,759	407	2,166	6,668
8	4,429	143	4,161	398	9,131	25	24	1,277	331	1,657	10,788
9	1,681	50	1,239	140	3,110	35	0	1,607	524	2,166	5,276
10	1,459	37	1,233	98	2,827	50	40	602	306	998	3,825
11	1,903	37	1,562	147	3,649	27	0	261	216	504	4,153
12	693	13	407	68	1,181	5	0	401	59	465	1,646
1	988	37	793	96	1,914	4	0	255	62	321	2,235
2	938	52	539	64	1,593	8	0	129	71	208	1,801
3	1,547	87	1,235	146	3,015	18	0	165	95	278	3,293
年度計	21,589	684	18,050	1,865	42,188	332	405	8,548	2,769	12,054	54,242

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

◎ プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	6	28	45	68	49	67	36	22	14	13	11	13	372

ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
太陽系と星の通り道	(3月)～4月	黄道12星座, 惑星の通り道	75回
惑星旅行	5月～6月	見頃の惑星	164回
星は何でできてるの？	7月～8月	星の一生	176回
色いろお月さま	9月～10月	中秋の名月, 皆既月食	145回
クリスマスツリーのひみつ	11月～12月	ベツレヘムの星	114回
焼き焦がすものシリウス	1月～2月	シリウス, 冬の一等星	116回
春の星空動物園	3月～(4月)	動物星座	64回
番組数	7番組	投影回数合計	854回

※（ ）内の月は別年度のため、投影回数には含まない。

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	3	2,163人	75回
5	11	2,514人	76回
6	22	2,011人	88回
7	24	2,533人	82回
8	21	4,664人	94回
9	18	1,864人	73回
10	12	1,664人	72回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	6	2,155人	60回
12	0	585人	54回
1	5	1,118人	61回
2	4	950人	55回
3	4	1,561人	64回
合計	130	23,782人	854回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽（太陽の1日の動きと影の出来方）	30分	3回
小学4年生	月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	30～40分	21回
小学6年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40分	13回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50分	3回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）	40～50分	2回

(学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）					団体数						
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	94	0	94	0	0	0	1	0	1
6	69	188	18	0	0	275	1	5	1	0	0	7
7	0	61	180	20	14	275	0	1	6	1	1	9
8	0	295	69	0	0	364	0	5	1	0	0	6
9	95	468	401	0	13	977	3	10	9	0	1	23
10	0	236	43	0	0	279	0	6	1	0	0	7
11	0	111	9	0	0	120	0	2	1	0	0	3
12	0	0	19	0	0	19	0	0	1	0	0	1
1	0	0	0	61	0	61	0	0	0	1	0	1
2	0	10	0	0	0	10	0	1	0	0	0	1
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	164	1,369	739	175	27	2,474	4	30	20	3	2	59

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数を含む。

○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を独自に製作・投影している。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4月1日～4月29日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座
夜空の動物園	5月1日～6月30日	春の星座紹介, 動物星座
たなばたさま	7月1日～8月7日	夏の星座紹介, 七夕伝説
かぐやひめ	8月8日～10月30日	秋の星座紹介, かぐやひめのお話し
クリスマスの空	11月1日～12月25日	冬の星座紹介, クリスマスのお話
ふゆのせいざ	12月26日～2月28日	冬の星座紹介, エリダヌス座のお話
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座

(幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	0	1,433人	31回
5	8	1,985人	35回
6	11	1,199人	31回
7	29	2,782人	42回
8	20	4,336人	53回
9	18	1,532人	31回
10	11	1,173人	30回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	10	1,074人	22回
12	8	500人	20回
1	3	595人	19回
2	4	487人	19回
3	7	1,008人	24回
合計	129	18,104人	357回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内容	観覧者数	投影日
夏の星空CDコンサート ～STORY OF GALAXIES～	季節の星座解説と銀河をテーマにしたCDコンサート	88人	7月5日
特別企画 手に取る宇宙～Message in a Bottle～地上ミッション日本北海道旭川	JAXAで実施されたプロジェクトについて、講師によるレクチャーとワークショップを開催	46人	8月13日
秋の星空CDコンサート ～Happy Halloween～	ハロウィンをテーマに音楽と季節の星座を紹介するCDコンサート	101人	10月11日
クリスマス星空CDコンサート ～サンタクロースの贈り物～	クリスマスをテーマに音楽と季節の星座を紹介するコンサート	130人	12月13日
春の星空CDコンサート ～Spring Blooming Stars -春めく空へ出かけよう-～	冬の星座と春の星座を神話を交えて紹介するCDコンサート	80人	3月7日

○ドームシアター 実施期間：通年

デジタル映像投影装置を利用し、全天周映像を上映する。

(番組利用状況)

投影回数：324回

番組タイトル	内容	観覧者数	団体数
ETERNAL RETURN -いのちを継ぐもの-	全天周デジタル映像, オート番組, 宇宙の中で生まれるいのちの物語	9,198人	50

6 学校連携事業

(1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	延べ46団体（利用者数：1,596人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「夜光スライムを作ろう」、「光スタンプを作ろう」など 電子工作・・・「ペットボトルキャンドルの製作」など 木工・・・「糸のこ体験」 その他・・・低温実験室体験、「無限の箱を作ろう」など

(2) 巡回実験教室事業

ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教室などを行う。

期 間	通年
利用団体数	延べ9団体（利用者数：423人）
テーマ	サイエンスショー・・・「超低温の実験」など 実験工作・・・「万華鏡をつくろう」など

イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

（参加者数は全てプラネタリウム観覧者数に含む）

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立東光小学校 4 学年	128人	9 月 18 日
旭川市立西神楽中学校 3 学年	22人	12 月 17 日
旭川市立神楽中学校 3 学年	135人	12 月 24 日

ウ 総合学習関連事業

小・中学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
旭川市立広陵中学校	総合的な学習の時間に講師を派遣	24人	1 月 24 日

(3) 人材育成事業

ア 博物館実習の受入れ

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しています。

実習期間

平成26年8月21日(木)から8月27日(水)まで（7日間）

実習生（学校別人数）

合計 11人

北海道教育大学旭川校	7人	札幌大学	2人
苫小牧駒澤大学	1人	神戸女子大学	1人

イ サイパル理科研修会

回	内 容	対 象	延べ人数	開催日
1	天文・理科・地層プラクティス	教員	7人	8月1日
2	サイパルの理科実験紹介		2人	11月15日
3	たんちょう先生の実験教室		21人	1月16日

7 共催事業

(1) みどりの回廊展(共催：あさひかわ自然共生ネットワーク)

内 容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	557人	6月28日, 29日

(3) 親子ミニマイコンカー教室(共催：旭川工業高等学校)

内 容	延べ人数	開催日
親子でミニマイコンカー製作と競技会	28人	10月18日, 19日

(4) お天気ひろば(共催：旭川地方气象台)

内 容	参加者数	開催日
気象や防災に関するさまざまな実験・展示等を開催	1,272人	11月3日

(5) 科学探検ひろば2015(共催：サイエンスボランティア旭川)

内 容	参加者数	開催日
サイエンスボランティア旭川を中心に地域の学校教諭や学生が科学屋台の出展など約50の催しを開催	5,675人	1月10日, 11日

8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	参加者数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(33回実施)	261人	4月～3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	784人	10月25日, 26日
日専連版画コンクール	日専連旭川	839人	1月24日, 25日
健康日本21	旭川薬剤師会	276人	2月22日

9 情報提供活動

(1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD・CD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他
(備品・資料・家具類などは全て（社）旭川自動車学園からの寄贈による)

(2) 情報コーナーの運営

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末5台、インターネット検索可能、液晶タッチパネルによる画面展開可能

(3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果、最新科学情報・動向、サイエンスFAQなど。

10 広報活動

科学館及び博物館の周知、事業内容のPRと利用の促進を図るため、次の広報活動を実施した。

(1) 旭川市広報誌「あさひばし」への事業案内、利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ等報道機関その他媒体への情報提供、取材依頼。

(3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布。

(4) 特別展や各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布。

(5) ホームページを通じて利用案内や事業情報等を発信。

(6) 科学館体験学習の手引きの作成。

(7) 「科学館報」、調査研究などの「研究報告」、旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行、配布。

(8) 館内に科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

Ⅲ サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成26年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 171名（平成27年3月末日現在）
〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員171名（うち特別学芸員84名）

〈お問合せ先〉 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番22号
旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局
TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310
E-mail: kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp
URL: <http://asascience.blog.fc2.com/>

2 平成26年度従事者数

月	案内説明員，事務局員	特別学芸員	計	月	案内説明員，事務局員	特別学芸員	計
4	156.0人	59.0人	215.0人	10	155.5人	41.0人	196.5人
5	175.5人	76.5人	252.0人	11	166.0人	72.0人	238.0人
6	200.0人	79.5人	279.5人	12	148.5人	55.0人	203.5人
7	223.5人	80.0人	303.5人	1	134.5人	36.0人	170.5人
8	337.0人	132.5人	469.5人	2	148.5人	50.5人	199.0人
9	205.5人	70.5人	276.0人	3	166.5人	52.5人	219.0人
				計	2,217.0人	805.0人	3,022.0人

※半日従事の場合は0.5人として積算

3 活動の内容

(1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	発券機操作案内，常設展示機器運営サポート・展示案内・説明，プラネタリウム観客誘導・整理等，レファレンスルーム管理，「サイエンスボランティア旭川通信」発行など
自主事業の企画・実施	「科学探検ひろば2015」の実施，サイエンスワークショップ・スポット木工・サイパル工房・コーナーサイエンス開催，教育大学旭川校からの学生ボランティア12名受け入れなど ※科学探検ひろば2015はⅡ「平成26年度事業活動報告」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品約150種程度

(2) 自主事業詳細

ア サイエンスワークショップ

簡単な科学実験や工作などのワークショップを小学生を対象に主に日曜日、館内の様々なスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
牛乳パックの車をつくろう，ビックリヨーヨーを作ろう，紙コップ工作，六角変わり絵，など	4,013人	主に毎日曜日 (合計49回)

イ 冬休み自由研究サポート工作教室

子供から大人まで楽しめる工作。

回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	エコマシーン	小学3年生以上	20人	9人	12月27日
2	ミニプラネタリウム		20人	10人	12月28日
3	クルクルポン		20人	3人	12月28日
4	ワタ虫クン		20人	12人	12月29日

ウ スポット木工

木工に興味を持ってもらうため、かんたんな木工体験を行うワークショップ。

事業名	内 容	参加者数	開催日
スポット木工	糸のこを使った動物などの簡単な切り抜き工作	440人	4月～3月 (12回実施)

エ サイパル工房

様々な世代の人々にもものづくりの楽しさを伝えるため、電子工作を中心に不定期に開催しています。

回	内 容	対 象	参加者数	開催日
1	なかよしスイッチ，かんたんモーター	どなたでも	49人	5月3日
2	草原の風車		33人	5月4日
3	1 2曲オルゴール		14人	8月11日
4	かんたん工作(くるくるカップ、ソーラーオルゴールほか)		17人	8月13日
5			45人	8月14日
6			47人	8月15日
7	23人		8月17日	
8	メロディボックス		6人	11月8日
9			8人	11月9日
10	電子小鳥		13人	11月29日
11	ビー玉インテリア		7人	2月21日

オ 大人の学び舎

大人を対象とした科学講座

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	春の植物観察会	大人	9人	6月5日
2	アンモナイトキーホルダー		6人	6月19日
3	常設展示解説講座		13人	7月9日
4	天文講座		7人	8月27日
5	カッティングボードづくり		9人	9月24日
6	植物講座		10人	10月8日
7	スチロールスタンプ		9人	11月20日
8	紙を使って		5人	2月20日

カ 博士現る！

その日現れた「博士」が不思議で楽しい体験や実験を紹介します。

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	石博士現る！	どなたでも	50人	4月27日
2	葉っぱ博士現る！		68人	5月25日
3	宝石博士現る！		42人	6月8日
4	気圧博士現る！		40人	6月22日
5	磁石博士現る！		6人	7月12日
6	数学博士現る！		40人	8月31日
7	砂鉄博士現る！		24人	10月24日
8	数学博士現る！		15人	11月2日
9	砂鉄博士現る！		33人	11月15日
10			41人	12月6日
11	電磁石博士現る！		22人	2月14日
12			27人	3月14日
13	数学博士現る！		100人	3月28日



科学探検ひろば2015



サイエンスワークショップ

IV 旭川市科学館利用案内（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示，科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは，次の観覧料が必要になります。

博物館 常設展示室 (1日)	科学館		観覧料 (円)			
	常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
●			300	240	200	160
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
	●	●	500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は，同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は，観覧料が免除となります。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は，利用開始された日から1年間，対象施設を何度も御覧いただけます。

種類	対象施設	料金 (円/枚)	
		大人	高校生
博物館パスポート	博物館の常設展示	600	400
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	/

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また，博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお，特別展につきましては，その都度教育委員会が定める額となります。

2 開館日等

(1)開館日数

平成26年度の開館日は318日、休館日は47日（うち、保守点検休館日は8日間）。

(2)休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、その翌日）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

上記を除く毎月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる）

(3)臨時開館日

前(2)に掲げる休館日のうち、6月から9月までの月曜日及び月末の平日（7月14日及び9月30日を除く）並びに12月26日、1月2日及び3月31日。

(4)開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（ただし観覧のための入館は午後4時30分まで）

ただし、お盆時期を中心に5日間（平成26年度は8月13日～17日）は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長したほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

(5)交通のご案内

バスを御利用の場合

J R 旭川駅前「27番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」乗車、「科学館前」で下車します。

J Rを御利用の場合

J R 旭川駅から徒歩25分又は、J R 旭川四条駅から徒歩15分かかります。

高速道路を御利用の場合

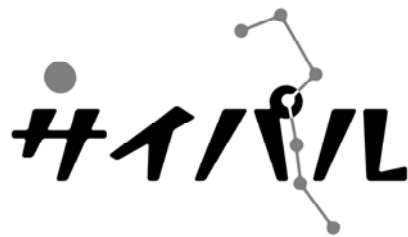
道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分又は、道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

飛行機を御利用の場合

旭川空港より車又は旭川電気軌道バス空港線「宮前通東」まで約40分かかります。

(6)周辺地図





旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。
新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしてい
ます。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込め
られています。



旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

未来への進化をたどる、地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、
宇宙的な生物アメーバを表現。

その中に、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、またアイヌの人たちには
「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

平成27(2015)年

旭川市科学館報 Vol.7

平成27年12月発行

発行者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310

ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kagakukan/>

メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp
